

南三陸地域資源プラットフォーム 役割・機能・事業一覧

役割	機能	事業
資源を知る・守る	地域資源/環境研究機能	<ul style="list-style-type: none"> ・森里海調査・研究事業 ・「森里海ひとのベストバランス」調査・研究事業 ・新技術調査・研究事業
成功事例をつくる	新事業創出機能	<ul style="list-style-type: none"> ・南三陸いのちめぐるブランド推進協議会事業(事務局) ・地域商社事業
担い手を育てる	人材育成機能	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代人材育成事業 ・社会人人材育成事業
マルチセクターで協働する	政策提言・連携促進機能	(・町や国への政策立案・提言、町の取組のバックアップ)
共感者を増やす	情報発信・誘客機能	・常設展示事業

森里海調査・研究事業、「森里海ひとのベストバランス」調査・研究事業、新技術調査・研究事業

◆1. 事業基本内容

PFでの独自研究、外部研究者、企業との共同研究(研究依頼も含む)など
積極的な研究活動を行い、論文を執筆—各事業に活かす。
知財と人のネットワークを蓄積、充実 など。

森里海調査・研究事業

志津川湾に生息する海洋生物の標本収集、環境調査、生物相調査
従来は行っていなかった森里の調査・研究 など

「森里海ひとのベストバランス」調査・研究事業

「森里海ひとのベストバランス」についての現状アセスメント
栄養塩、ミネラル、クロロフィル等、ベストバランスの定点観測と評価 など

新技術調査・研究事業

新技術が必要な開発要素についての(ペレット製造や熱電変換など)技術的な基礎検討

※町外企業も、研究開発やモデル創出のためのフィールドとして活用できるような 存在になることも意識する。

森里海調査・研究事業、「森里海ひとのベストバランス」調査・研究事業、新技術調査・研究事業

◆2. 事業詳細

●収入についての考え方

各調査研究事業は、以下の収入パターンを考える。()内数字は*を除き1案件あたり。

- 町からの研究員派遣、助成金、委託費
- 依頼者(町内外企業や自治体等)からの委託費(200万~)
例)スギが人に与えるリラックス効果の検証・証明、企業の技術×一次産業で地域の環境/経済への効果検証
- 財団(例:日本財団 海と日本PROJECTや三井物産環境基金財団)などの助成金(100万~)
例)海洋生態系の保全、及び漁師の収入増に繋がる研究への助成金
- 科研費(100万~300万)
例)研究活動スタート支援、基礎研究支援など

●支出についての考え方

- 人件費
全体プロジェクト事務局、フィールドワーク、研究、まとめ、報告書、などに係る人件費
- 事業費(研究にかかる諸経費)
顕微鏡や分析機器、機材使用費、車両、ガソリン、管理費等

この事業に求められる人材

専門知識を持つ研究員、研究結果を各種事業に展開できるトランスレーターのスキルを持つ人材

森里海調査・研究事業、「森里海ひとのベストバランス」調査・研究事業、新技術調査・研究事業

◆3. 事業収支

収入	1件当たり単価(円)	件数(件)	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目	
			2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2026	2026	2026	2026	2026	2026	2026	2026	2026	
調査受託(民間)	2,000,000	2		2,000,000	2,000,000	4,000,000	4,000,000	6,000,000	6,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000		
財団などの助成事業	1,000,000	1	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
国や自治体の補助事業		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
科研費	3,000,000	1	0	0	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
町からの委託(派遣)	10,400,000	—	6,200,000	11,400,000	10,400,000	8,400,000	6,400,000	6,400,000	6,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000	
収入小計			6,200,000	14,400,000	16,400,000	16,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	
支出																						
1日あたり人件費+事業費=年間5,200,000+1,000,000																						
支出																						
研究員1	6,200,000		6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000		
研究員2	6,200,000		0	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000		
備品等				2,000,000	4,000,000	4,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000		
支出小計			6,200,000	14,400,000	16,400,000	16,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000		
収入－支出			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

成功事例を作る

新事業創出機能

(1) 南三陸いのちめぐるブランド推進協議会事業

◆1. 事業基本内容

南三陸が目指す方向性を示し、参画者と協議しながら、その方向性に即して何をどのように行うかを決めたり、情報共有を行う場。いのちめぐるブランドのルール化や認定も担う。

- 協議会を通じて、いのちめぐる新事業の案が生み出される（決定事項について実行していく際は、調査研究事業、地域商社事業につないでいく）。
- 参画者間の情報共有を行うことにより、南三陸全体でどのようないのちめぐる活動がなされているか把握するとともに、連携促進や新事業につなげる機会としていく。



議論の例)

新事業について

- いのちめぐるブランドにつながる事業として、どんな案件から取り組むべきか
 - ASC認証取得した牡蠣の価格帯UP、FSC認証材の新分野の商品化、いのちめぐる米販売ルート確立…等
- それぞれ、誰が、どのように、どのタイミングで実施していきうるか
 - 各事業の進捗共有、情報発信の方法など協議

成功事例を作る

新事業創出機能

(1) 南三陸いのちめぐるブランド推進協議会事業

◆2. 事業詳細

●収入についての考え方

当事業については以下のパターンが考えられる。

- ・ 協議会参画者からの会費と負担金(数万円 × ●事業者)

●支出についての考え方

- ・ 協議会開催については、各回2時間程度の会を年間12回程度開催を想定
- ・ 事務局は担当、アシスタントの2人程度が担う。
- ・ 協議会で制作費や広報費など別途費用を要することになった場合は、その資金調達についても都度協議して決める。

この事業に求められる人材

事業推進能力を持つ人材、参画者との連絡調整や資料の作成等の事務処理能力を持つ人材

成功事例を作る

新事業創出機能

(1) 南三陸いのちめぐるブランド推進協議会事業

◆3. 事業収支

収入	金額	社	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目	
			2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2026	2026	2026	2026	2026	2026	2026	2026	2026	
会費・負担金	50,000	25	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000		
収入小計			1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000		
支出	時間単価(円)	工数(時間)	人数(人)																			
事務局経費		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費(担当)	15,000	48	1	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	
人件費(アシスタント)	8,000	48	1	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	384,000	
事業費				146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000		
支出小計				1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000		
収入－支出				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

成功事例を作る

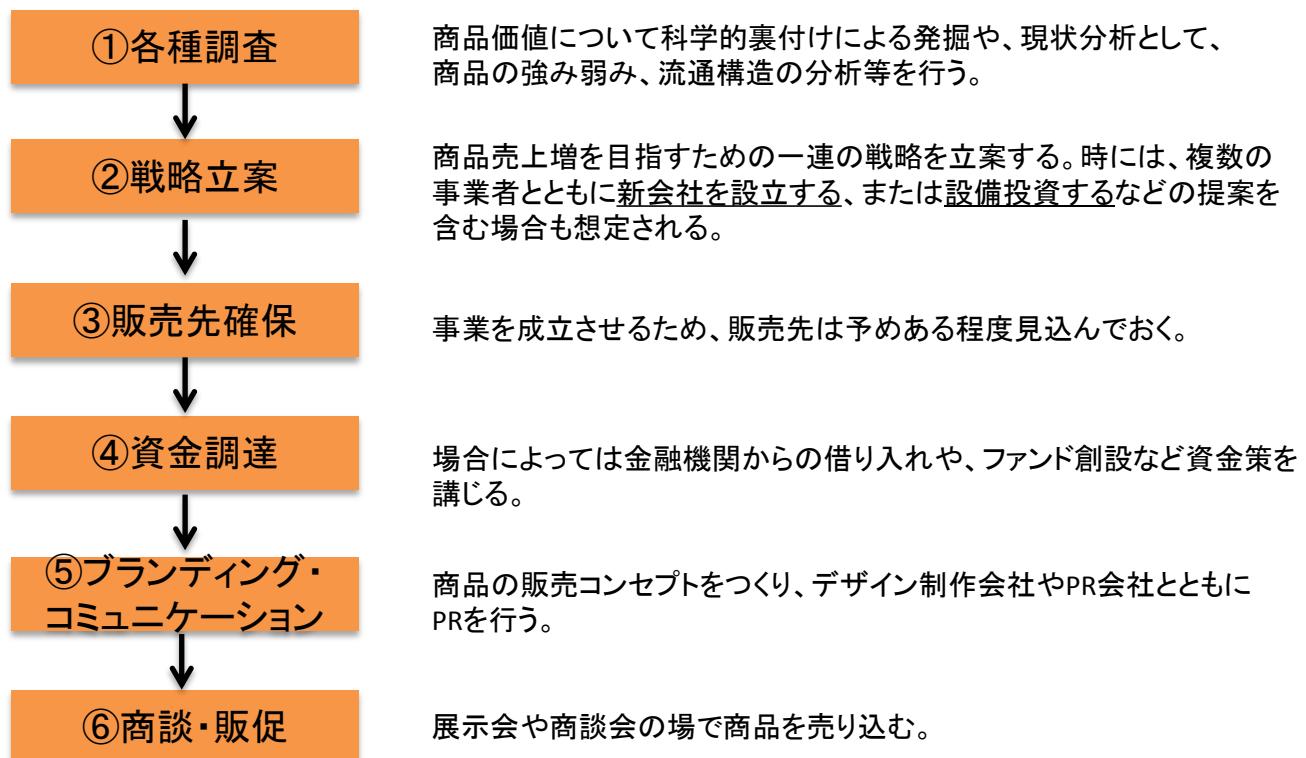
新事業創出機能

(2) 地域商社事業

◆1. 各事業基本内容

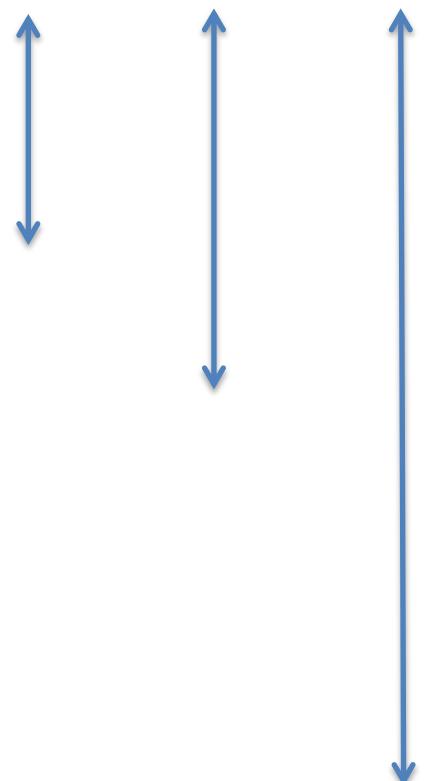
いのちめぐるアクション(ビジネス)の成功事例を作るために、その事案に即して、戦略を立案し、プロジェクトのサポートや、プロジェクト組成をしていく。

●調査から販売までの基本フェーズと関与のパターンについて



<サービスパターン>

A①② B①～③or④ C①～⑥



成功事例を作る

新事業創出機能

(2) 地域商社事業

◆2. 事業詳細

●収入についての考え方 基本的に、プロジェクトプロデュースにかかる費用をいただくパターン。

サービスパターン	収入のパターン	金額イメージ
パターンA 調査+戦略立案	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者からの委託費 ・自治体等からの委託費 ・事業者+自治体からの委託費 ・資金調達は各事業者が主体 	300万程度
パターンB 調査+戦略立案+販売先確保(+資金調達)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトコーディネート費 ・新たな商品形態の開発とチャネル開拓まで ・資金調達は各事業者が主体 	600万程度 (全体予算の約10%)
パターンC 調査～商談・販促(フルコミット)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトコーディネート費 ・資金調達含めた全体設計と実行を行う ・内容によっては、テーマに沿った補助金等も含めながらの展開の可能性も 	950万程度 (全体予算の約10%)

●支出についての考え方

- ・最低人員として2人程度
- ・人件費のほか、パターンによるが、打ち合わせにかかる旅費(海外の可能性も)、調査実費などの事業費も発生する。

この事業に求められる人材

事業を推進することのできるプロデューサー人材、商売センスのある人材

成功事例を作る

新事業創出機能

(2) 地域商社事業

◆3. 事業収支

地域商社事業

収入	金額	件数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
			2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
パターンA	3,000,000	5		0	6,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000
パターンB	6,000,000	3		0	0	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000
パターンC	9,500,000	2		0	0	0	19,000,000	19,000,000	19,000,000	19,000,000	19,000,000	19,000,000
収入小計	収入小計			0	6,000,000	33,000,000	52,000,000	52,000,000	52,000,000	52,000,000	52,000,000	52,000,000
支出	人件費(2名分+事業)	件数										
パターンA	2,400,000	5		0	4,800,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
パターンB	4,800,000	3		0	0	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000	14,400,000
パターンC	7,600,000	2		0	0	0	15,200,000	15,200,000	15,200,000	15,200,000	15,200,000	15,200,000
支出小計	支出小計			0	4,800,000	26,400,000	41,600,000	41,600,000	41,600,000	41,600,000	41,600,000	41,600,000
収入-支出				0	1,200,000	6,600,000	10,400,000	10,400,000	10,400,000	10,400,000	10,400,000	10,400,000

(1) 次世代人材育成事業

◆1. 事業基本内容

●プログラム内容について

当事者として関わる担い手育成のため、
対象者別に以下のプログラムを企画実施する。

対象	人数規模	形態	内容	回数や期間
【町内】 幼・小・中・高生	町内で約1,000人＊ 総合的な学習の時間が開始される4年生～。高校は2年までとする。	授業	総合的な学習の時間などを利用し、毎年授業の中で南三陸の取り組む持続可能社会実現を通した働き方、生き方について学ぶキャリア教育。住んでいる町の魅力も発見してもらう。	各学年の単元にもよるが、各クラス2回程度の授業を想定。
【町外】 中・高生	最大520人まで ネイチャーセンター(以下、NC)実績で、慶應志木高校260人。 体制的に×2校程度。	教育旅行	教育旅行の受け入れを行い、南三陸の取り組む持続可能社会について学びながら、新しい社会のかたち、人間の暮らしと生業の新しい設計について考える機会を設ける。	2泊3日
【町外】 大学生・一般	最大30人まで NC実績で、ハイレベルな内容については15人程度が理想。年2回開催で15人×2回。	学習ツアーツアー	毎年夏と秋にハイレベルなツアープログラムを開催し、南三陸の取り組む持続可能社会について学びながら、新しい社会のかたち、人間の暮らしと生業の新しい設計について考える機会を設ける。	2泊3日

* 保育所+幼稚園4園240人(未満児以上)、小学校4～6の3学年24学級335人、中学校1～3の3学年16学級366人、高校1～2学年8学級133人=1,074人
(南三陸H27年度統計資料より)

(2) 社会人材育成事業

◆1. 事業基本内容

●プログラム内容について

対象	人数規模	形態	内容	回数や期間
【町外】 企業・自治体	1回あたり10人、年 間5回の <u>50人</u> 。	視察 研修 ツアーアー	南三陸の取り組む持続可能社会について視察しながら 学び、新しい社会のかたち、人間の暮らしと生業の新しい 設計について考えることを通し、自社の商品開発のあり 方やまちづくりのあり方を再考する機会を設ける。 ※企業については、企業の研究やモデルづくりのフィー ルドとして南三陸を活用してもらうことにもつなげていく。	1泊2日

(1)次世代人材育成事業、(2)社会人人材育成事業

◆2. 事業詳細

●収入についての考え方

参加費による収入

対象	金額	参考
【町内】 幼・小・中・高生	6,000円／人 (町負担)	南三陸町観光協会 海から学ぶプログラム 1.5～2h→3,000円
【町外】 中・高生	10,000円／人	
【町外】 大学生・一般	20,000円／人	東北オープンアカデミー→2泊3日4万円(宿泊費込み)
【町外】 企業・自治体	20,000円／人	産業総合研究所 教育研修費用の実態調査2015では従業員一人当たりの教育研修費用実績47,170円。東京から参加の場合の旅費を考えると、社員1人当たりに費やせる金額として2万円程度が妥当。

●支出についての考え方

- ・1プログラムにつき、主任とアシスタントの合計2人によって運営。
- ・人件費:主任25,000円/日、アシスタント20,000円/日
- ・事業費:教材作成費、プログラムによって車両費や船代(ダイバー含む)、打ち合わせに要する旅費等も発生

この事業に求められる人材

各対象に応じた学習プログラム企画力と、各機関との調整スキル、現場での柔軟な対応力を持つ人材

◆3. 事業収支

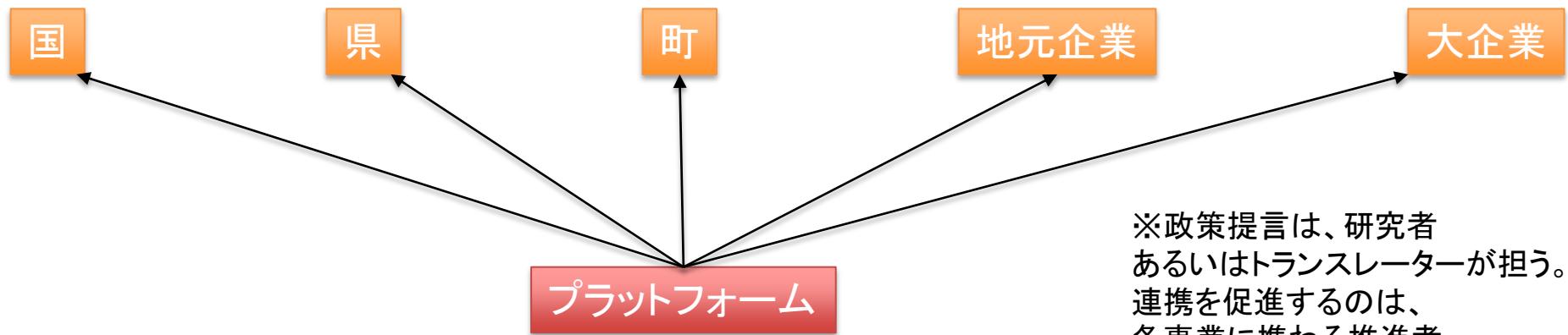
資料2:地域資源プラットフォーム 事業計画

14

マルチセクターで協働する

政策提言・連携促進機能

当事者として関わる行政職員や企業を増やしていくための
政策提言を行うとともに、町の取り組みのバックアップを行う。



例) 町、大企業への提言

本PFのベストバランス調査によれば、海外に比べて海洋環境のうちリンが
大変不足している。これは無リンの洗剤が普及している影響である。

××社の石けんを町として推奨することでリンの成分が海に戻り海洋生物の成育が
良好になる可能性がある。大企業は多少リンを含む商品をラインアップして欲しい。

例) 町、国への提言

××省より依頼を受け、東北大学の××先生とのドローン×ITによる山の生育状況調査の結果、
町内の間伐が山によっては行き届いておらず山の生物多様性にも悪影響を与えていること
数値的に明らかとなった。

町としてペレット事業の推進に力を入れ、地産地消型の木材消費を増やす必要がある。

常設展示事業

◆ 1. 事業基本内容

南三陸の取り組みを紹介しながら、考え方を示すことで、認知や共感を増やし、事業の拡充や創出の機会、取り組みの拡散につなげる。

● 展示内容について

南三陸は何を守っているのか、それを達成するためのメカニズムはどのようにになっているのかを伝える。

訪れた方が必ず足を運ぶような、“南三陸エコタウンショールーム”的な存在であり、かつ、町内外の企業の取り組みや技術を紹介し、知ることにより行動を起こすことにつながる、産業ポータルとしての機能を果たすことにも意図する。

地球は今どうなってる？



解説パネル
エネルギー消費・CO₂・乱獲
人口爆発など

脱石油の切り札：木質ペレット



解説パネル
ペレットストーブ・ペレットの展示

持続可能な生活とは



解説パネル &
環境に優しい生活用品の展示
例：海に流しても環境/生物への
影響が少ないシャンプー

南三陸の漁師による取組



解説パネル
養殖棚・養殖縄の展示

持続可能な自然の状態を
測定する最新のドローンテクノロジー



解説パネル
ドローン展示

南三陸杉は
なぜ良質になるのか



解説パネル
南三陸杉の展示

常設展示事業

◆2. 事業基本内容

●収入についての考え方

- 入場料による収入
次世代人材育成事業や社会人材育成事業におけるプログラム内でも必ず活用するものとする。
また、南三陸に別の目的で訪れた人たちのほとんどが足を運ぶ場所を目指す。

入場料 子ども300円、大人600円 （企画展示など行う際には別料金を設定することも考えうる）

(一般的な博物館の入場料)

公立の施設の常設展・所蔵品展:200円～500円

私立の施設の常設展・所蔵品展:500円～1,000円

作家の作品による企画展・特別展:800円～1,500円

- 企業協賛による収入
常設展示全体に対しての協賛や、町内外の企業の取り組みを展示する場を設け、ブース設置料としての協賛費を得る(数十万～数百万)

●支出についての考え方

基本的に、支出を抑えた運営方法をとる。音声ガイド機器を用いながら来場者が自由に観覧。

・イニシャルコスト(展示内容企画・制作費):数千万(音声ガイド制作費も含む)。

・ランニングコスト:音声ガイド機器リース 50万円×10台=500万/年、内容メンテナンス300万/年、トータル800万

◆3. 事業収支

資料2:地域資源プラットフォーム 事業計画

対象		1年目 2017年			2年目 2018年			3年目 2019年			4年目 2020年		
		単価	人数	売上	人数	売上	人数	売上	人数	売上	人数	売上	
収入	常設展示入場者 小人	300	0	0	2,000	600,000	4,000	1,200,000	5,500	1,650,000			
	大人	600	0	0	500	300,000	1,000	600,000	3,500	2,100,000			
	常設展入場者合計		0	0	2,500	900,000	5,000	1,800,000	9,000	3,750,000			
	企業協賛					1,000,000		2,000,000		5,000,000			
収入小計			0			1,900,000		3,800,000		8,750,000			
支出													
人件費		0		0		0		0		0		0	
設備費		10,000,000		0		1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000	
音声ガイド制作+メンテナンス		2,000,000		0		5,000,000		2,000,000		2,000,000		2,000,000	
水道光熱費		1,200,000		0		1,200,000		1,200,000		1,200,000		1,200,000	
広告宣伝費		2,000,000		0		6,000,000		2,000,000		2,000,000		2,000,000	
旅費交通費		1,000,000		0		1,000,000		1,000,000		1,000,000		1,000,000	
支出小計			0		11,700,000		0	7,700,000	0	7,700,000		7,700,000	
収入－支出			0		-9,800,000		-3,900,000		1,050,000				
5年目 2021年	6年目 2022年	7年目 2023年	8年目 2024年	9年目 2025年	10年目 2026年								
人数	売上	人数	売上	人数	売上	人数	売上	人数	売上	人数	売上		
5,700	1,710,000	5,900	1,770,000	6,200	1,860,000	6,300	1,890,000	6,400	1,920,000	6,500	1,950,000		
4,300	2,580,000	6,100	3,660,000	7,800	4,680,000	9,700	5,820,000	11,600	6,960,000	13,500	8,100,000		
10,000	4,290,000	12,000	5,430,000	14,000	6,540,000	16,000	7,710,000	18,000	8,880,000	20,000	10,050,000		
5,000,000		5,000,000		5,000,000		5,000,000		5,000,000		5,000,000		5,000,000	
9,290,000		10,430,000		11,540,000		12,710,000		13,880,000		15,050,000			
0		0		0		0		0		0		0	
1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000		1,500,000	
2,000,000		2,000,000		2,000,000		2,000,000		2,000,000		2,000,000		2,000,000	
1,200,000		1,200,000		1,200,000		1,200,000		1,200,000		1,200,000		1,200,000	
2,000,000		2,000,000		2,000,000		2,000,000		2,000,000		2,000,000		2,000,000	
1,000,000		1,000,000		1,000,000		1,000,000		1,000,000		1,000,000		1,000,000	
0	7,700,000	0	7,700,000	0	7,700,000	0	7,700,000	0	6,200,000	0	6,200,000		
1,590,000		2,730,000		3,840,000		5,010,000		7,680,000		8,850,000			

南三陸地域資源プラットフォーム ビジネスマodel

事業の性質上、自主事業収入、寄付金や会費収入、助成金、補助金等などに分別され、トータルでプラットフォームを持続的に成り立たせる考え方が必要である。

(町からの拠出は青字)

事業	収入源
森里海調査・研究事業、 「森里海ひとのベストバランス」調査・研究事業、 新技術調査・研究事業	<ul style="list-style-type: none"> 町からの研究員派遣、助成金、委託費 依頼者(町内外企業や他自治体等)からの委託費 財団(例:日本財団)などの助成金 国や自治体などの補助金 科研費
南三陸サスティナビリティブランド推進協議会事業	<ul style="list-style-type: none"> 協議会参画者からの会費 町内法人からの寄付金 町の負担金
地域商社事業 (個別ブランド推進事業内包)	<ul style="list-style-type: none"> 事業者からの委託費 自治体等からの委託費、補助金 内容によっては、テーマに沿った補助金等も含めながらの展開の可能性も 出資→回収など
次世代人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> プログラム受講料 町からの委託金等 (町内幼小中校生対象の場合)
社会人人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> プログラム受講料
常設展示事業	<ul style="list-style-type: none"> 入場料 企業協賛

実施体制

塗りつぶし(●)は直接関与、白丸(○)は間接的に関与。

事業	研究者	トランスレーター	プロジェクトマネージャー	プロジェクト担当者	アシスタント	事務
森里海調査・研究事業、 「森里海ひとのベストバランス」調査・研究事業、 新技術調査・研究事業	●	●				
南三陸サスティナビリティブランド推進協議会事業			●	●	(●)	
地域商社事業 (個別ブランド推進事業内包)			●	●	(●)	
次世代人材育成事業	●	●				
社会人人材育成事業	●	●				
政策提言(連携促進)	●	●				
常設展示事業	●	●	○	○		
バックオフィス(総務・人事・経理・広報)						●
人員案	1~2	1~2	2	1	(1)	1

→事業の規模、ステージにあわせてトータルで6人～9人の人材を要する